



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047(752)0453 植田 進 ☎047(487)9754
伊原 忠 ☎047(488)7207

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>
共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp



第298号

2016年12月19日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

市が市庁舎整備方針を突然変更

八千代市は市庁舎整備について「建て替えに絞って検討を重ねていくことに決定」と記載した「市庁舎の整備検討状況について」という資料を全市会議員に8月末配布しました。これまで市庁舎整備は、「本庁舎等施設あり方検討委員会」で検討し、「まずは市庁舎の耐震補強及び大規模改修工事を行い、その後合同庁舎化を含めた建て替えについて検討する」という方針を2011年と15年に決めていました。ところが市はこの方針を突然変更したのです。

変更した方針を再修正する答弁を

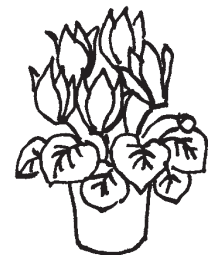
市は庁舎建設事業費の調査委託料1841万円を補正予算に計上しました。13日行われた総務常任委員会で、この事業費に関連して植田進議員は、「これまでの方針をなぜ変更したのか」「どこで決めたのか」「財政見通しを含めて検討したのか」などについて質問しました。市は4月の熊本地震で耐震補強をした庁舎が震度7の地震で被災したこと、総務課内にチームを作って決めたなどと答弁しました。

植田議員は検証を行わないまま熊本地震の事例だけで方針を変更するのは問題、財政見通しもよく検討されていないと指摘。市は「本庁舎の耐震補強及び大規模改修工事も検討する」と、「建て替えに絞る」方針を修正する答弁を行いました。

情報提供・市民参加で市民との合意形成を

市庁舎の耐震性不足や老朽化は誰もが心配するところです。だからと言って方針を勝手に変更し市民に一方向的に押し付けるやり方は認められません。建て替えとなれば新川ハコモノを上回る建設費が予想されます。市民への施策の影響は避けられません。市庁舎は市民共有の財産でもあります。市庁舎建設に市民との合意形成は不可欠です。

秋葉市長は市長就任あいさつで「行政だけで物事を決めていくのではなく、情報公開、情報提供したうえでの市民参加型市政運営を強化」と述べました。しかし、市庁舎整備は「広報やちよ」に一切載らず、ホームページに11月に初めて経緯が掲載されただけです。就任あいさつの市政運営とは真逆です。



市は市庁舎整備について、市民にきちんと情報を提供し、市民の意見を聞くなど、市民との合意形成に努める必要があります。